



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月11日

上場会社名 TOWA株式会社

上場取引所 東

コード番号 6315 URL <http://www.towajapan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 博和

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画本部長 (氏名) 柴原 信隆

TEL 075 - 692 - 0251

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	11,641	23.9	181		283		201	
2019年3月期第2四半期	15,298	2.0	873	64.9	954	61.4	881	46.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 636百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 487百万円 (75.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	8.04	
2019年3月期第2四半期	35.26	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	43,011	26,829	62.2
2019年3月期	43,968	27,722	62.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 26,738百万円 2019年3月期 27,616百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		16.00	16.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,741	9.0	718	23.4	616	34.4	438	50.1	17.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	25,021,832 株	2019年3月期	25,021,832 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	12,560 株	2019年3月期	12,526 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	25,009,276 株	2019年3月期2Q	25,009,499 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想等に関する詳細は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、2019年11月12日(火)にアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。
3. 四半期決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、長引く米中貿易戦争による中国経済の減速が世界経済に波及したことにより、景気悪化の懸念が高まっております。また、底堅いと見られていた米国経済では、製造業の景況感が一段と後退し、雇用者数の伸びにも鈍化が見られる等、減速懸念が高まりました。日本経済につきましても輸出や生産の弱さが続いており、先行きは依然として不透明な状況です。

半導体業界におきましては、米中貿易戦争の先行き不透明感から顧客の設備投資意欲に未だ力強さは感じられないものの、次世代通信規格「5G」の基地局向け需要が好調なことや、メモリー価格に底入れ感が見られること等から、一部では設備投資への前向きな動きが見られ、低迷していた半導体市況にやや回復の兆しが見え始めました。

このような状況のもと、当社グループは半導体モールドディング装置のリーディングカンパニーとして、今後の本格展開が予想されるWLP（ウェハーレベルパッケージ）やPLP（パネルレベルパッケージ）の量産化に向けたソリューションを提供してまいりました。また、当社のコア技術である超精密加工技術を応用展開した受託加工の売上高が、当第2四半期連結累計期間で前年同期（2018年4月～2019年3月期）を超える大幅な伸びを見せる等、安定した収益体質の実現に向けた事業展開を進めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高116億41百万円（前年同期比36億56百万円、23.9%減）、営業損失1億81百万円（前年同期は営業利益8億73百万円）、経常損失2億83百万円（前年同期は経常利益9億54百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失2億1百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益8億81百万円）となりました。

なお、セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[半導体製造装置事業]

半導体製造装置事業における経営成績は、米中貿易戦争等を背景とした各社の設備投資への慎重さが続き、半導体市況の本格的な回復が想定よりも遅れていることから、売上高99億7百万円（前年同期比42億27百万円、29.9%減）となりました。

収益面では、前第4四半期から継続する原価低減の実施や固定費の見直しに加え、当社が市場シェアの100%を握る独自技術のコンプレッション装置の売上が増加したことにより、収益は改善しましたが、第1四半期連結会計期間（2019年4月～6月期）の落ち込みを補うことが出来ず、営業損失2億76百万円（前年同期は営業利益8億11百万円）となりました。なお、収益性の高いコンプレッション装置の受注が堅調に推移しており、引き続き収益改善に寄与することから、下期以降は赤字が解消する見込みです。

[ファインプラスチック成形品事業]

ファインプラスチック成形品事業における経営成績は、売上高7億85百万円（前年同期比40百万円、5.4%増）、営業利益1億1百万円（前年同期比8百万円、9.1%増）となりました。

[レーザ加工装置事業]

レーザ加工装置事業における経営成績は、スマートフォン需要の減速や世界的な自動車販売の不振により電子部品需要が低迷しております。また、米中貿易戦争による先行き不透明感から電子部品メーカー各社の投資判断に慎重な動きが見られ、設備投資需要が減少した結果、売上高9億48百万円、営業損失7百万円となりました。

なお、レーザ加工装置事業につきましては、前第2四半期連結会計期間（2018年8月）にオムロンレーザーフロント株式会社の株式を取得し、新たにセグメントを追加いたしました。そのため、前年同期比を記載しておりません。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年10月29日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,651,770	8,208,747
受取手形及び売掛金	9,352,845	8,036,731
電子記録債権	188,866	104,801
商品及び製品	1,342,004	2,031,877
仕掛品	6,294,751	5,090,323
原材料及び貯蔵品	645,928	628,082
その他	1,361,554	613,208
貸倒引当金	△2,645	△1,631
流動資産合計	26,835,077	24,712,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,167,032	14,020,583
減価償却累計額	△10,245,271	△10,313,583
建物及び構築物 (純額)	3,921,760	3,706,999
機械装置及び運搬具	10,685,952	10,687,858
減価償却累計額	△8,108,730	△8,277,418
機械装置及び運搬具 (純額)	2,577,221	2,410,439
土地	4,366,480	4,343,181
リース資産	17,459	666,739
減価償却累計額	△15,729	△44,148
リース資産 (純額)	1,729	622,591
建設仮勘定	665,207	1,582,054
その他	3,501,952	3,494,062
減価償却累計額	△2,917,120	△2,982,978
その他 (純額)	584,831	511,083
有形固定資産合計	12,117,231	13,176,352
無形固定資産	657,648	548,351
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	145,061	166,201
その他	4,214,072	4,409,316
貸倒引当金	△367	△367
投資その他の資産	4,358,766	4,575,150
固定資産合計	17,133,646	18,299,853
資産合計	43,968,723	43,011,996

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,631,020	1,470,139
電子記録債務	953,563	729,619
短期借入金	5,500,000	5,900,000
1年内返済予定の長期借入金	910,000	1,105,000
未払法人税等	162,353	226,428
製品保証引当金	129,865	127,110
賞与引当金	544,231	600,786
役員賞与引当金	33,012	9,965
その他	1,621,794	1,550,094
流動負債合計	11,485,841	11,719,144
固定負債		
長期借入金	4,086,875	3,479,375
退職給付に係る負債	666,803	686,833
その他	6,242	297,262
固定負債合計	4,759,921	4,463,471
負債合計	16,245,762	16,182,616
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,932,627	8,932,627
資本剰余金	462,236	462,236
利益剰余金	16,715,938	16,257,398
自己株式	△11,305	△11,337
株主資本合計	26,099,497	25,640,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,417,201	1,617,636
為替換算調整勘定	53,368	△564,050
退職給付に係る調整累計額	45,968	43,822
その他の包括利益累計額合計	1,516,538	1,097,408
非支配株主持分	106,925	91,046
純資産合計	27,722,961	26,829,380
負債純資産合計	43,968,723	43,011,996

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	15,298,244	11,641,802
売上原価	11,474,476	8,959,104
売上総利益	3,823,768	2,682,697
販売費及び一般管理費	2,950,494	2,864,507
営業利益又は営業損失(△)	873,273	△181,810
営業外収益		
受取利息	4,551	26,419
受取配当金	29,918	29,981
為替差益	26,908	—
雑収入	55,284	41,826
営業外収益合計	116,664	98,228
営業外費用		
支払利息	12,110	27,517
為替差損	—	167,281
雑損失	23,816	4,699
営業外費用合計	35,927	199,498
経常利益又は経常損失(△)	954,010	△283,080
特別利益		
固定資産売却益	13,337	324
特別利益合計	13,337	324
特別損失		
固定資産除却損	7,475	683
その他	132	—
特別損失合計	7,608	683
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	959,740	△283,439
法人税等	77,897	△74,818
四半期純利益又は四半期純損失(△)	881,842	△208,621
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△7,478
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	881,842	△201,143

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	881,842	△208,621
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△360,321	200,435
為替換算調整勘定	△25,726	△625,819
退職給付に係る調整額	△8,514	△2,146
その他の包括利益合計	△394,561	△427,530
四半期包括利益	487,281	△636,152
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	487,281	△620,273
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△15,878

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

第1四半期連結会計期間より一部の在外子会社について、IFRS第16号を適用しております。

これにともない、借手のリース取引については、原則すべてのリースについて使用権資産及びリース負債を認識するとともに、使用権資産の減価償却費とリース負債に係る支払利息を計上しています。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、第1四半期連結会計期間期首の固定資産が342,950千円増加、流動負債が128,104千円減少、固定負債が328,303千円増加、利益剰余金が142,752千円増加しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。